

TOP MESSAGE

お客さまと共に築く 次の価値創造へ

130年の感謝を胸に、共に未来を創る。

株式会社 足利銀行
取締役頭取

清水 和幸



創業130周年に感謝を込めて

足利銀行は、2025年10月1日、創業130周年を迎えることができました。

創業時から「足利銀行」という名前が変わることなく、長い歴史を今日まで積み重ねてくることができたのは、ひとえに、お取引先のお客さま、地域の皆さまからの永年にわたる温かいご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

しかし、この歴史に安住しているわけにはいきません。これからもお客さまからの信頼に応えていくためには、改めて歴史を振り返ったうえで、当行の行動指針である「お客さま志向」と「当事者意識」のもと、CSV経営を追求していくことが重要だと考えています。

自走する組織で、CSV経営を 追求していく

私は頭取に就任して以来、CSV経営を推進してきました。CSV (Creating Shared Value) とは、「共通価値の創造」と

訳され、お客さまの課題を共有し、共に解決した先に私たちの成長がある、ということです。お客さまの課題を解決することが社会的価値であり、そのうえで私たちの利益をあげることが経済的価値。その共通価値の創造を、私たち全員が同じベクトルで進めていくことが当行の経営ビジョンです。

この経営ビジョンを追求していくため、2024年10月に営業店の運営の在り方を抜本的に変え、「自主経営型」へと移行しました。各営業店が全員参加でディスカッションを行い、年齢・性別・職位に関係なく一人ひとりが意見を出し合い、ありたい姿を議論します。

その地域のお客さまが求める将来を想い、取り組むべき分野や行動を営業店の経営方針としてまとめ、営業活動の基軸としています。こうしたプロセスを経ることで、営業店における経営方針への納得感が生まれます。一人ひとりがやりがいをもって自律的に行動しCSVを実現していくこと、これが自主経営型へと移行した目的です。

手間のかかるプロセスではありますが、変化は着実に現れています。最近ではお客さまのお役に立つために自己研

鑽の必要性を感じ資格取得に励む行員が増えるなど、意識や行動の変化が見えています。

社会課題の解決に向けて

お客さまが直面されている課題は多岐にわたります。これらの課題解決のためにさまざまなサービスを提供しておりますが、足利銀行でできることは、自前で解決手段を提供したいと考えています。

法人のお客さまに対しては、お客さまの強みや課題などを分析してお客さまの成長につなげる「事業性評価」をしっかりと行ったうえで、お客さまに本当に喜んでいただける解決策の提供に本部と営業店が一体となって取り組んでいます。例えば、人材・人手不足への対応としては、2019年に免許を取得して、お客さまに人材の紹介を行っています。また、デジタル化への対応では、投資専門子会社を通じて出資している地域のウェブ・ポータルサイト開発会社とタッグを組み、お客さまのシステム全体を把握したうえで、システム連携による効率化・高度化、そして省人化につなげるお手伝いをしています。

個人のお客さまには、お客さまに応じたポートフォリオのご提案をしていきたいと考えています。遺言信託も銀行本体で取り扱えるよう免許を取得し、自前で遺言執行まで行える態勢を整備しました。高齢化に伴う認知症やMCI (軽度認知障害) の方も増えてきています。家族の同意があれば払い出し可能な信託機能も導入するなど、お客さまが安心して金融取引ができる金融機関を目指しています。

これからの未来に向けて、役職員一同、より一層地域の皆さまの期待と信頼に応え、地域経済の発展に寄与し続けてまいります。引き続き、足利銀行へのご支援・ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

Index

トップメッセージ	01
【特集】地域と共に歩んだ130年	03
【特集】CSVを実現する 自主経営型部店運営への変革	05
あしぎんの取り組むソリューション	07
人生100年 長生き時代だからこそ！	09
サステナビリティへの取り組み	11
グループ総合力の発揮	13
めぶきビジネスアワード入賞企業	15
営業エリアのご案内	19
会社概要	21
数字で見る足利銀行	22